

## 松川氏が支部長に就任

### 日測協沖繩支部が業務報告会

(公社)日本測量協会沖繩支部は7月21日、那覇市の沖繩県教職員組合共済会館八汐荘で業務報告会を開き、23年度の事業計画を報告したほか、任期満了に伴う役員改選で、5月16日付で松川竹丸氏が新たに支部長に就任したことを発表した。また同日、東竹西広晃氏が新副支部長に、大城正道氏が新副支部長兼幹事長に就任した。

松川支部長は「技術力向上のための講習会



松川竹丸支部長

や測量機械の検定などの事業を通して、業界の更なる発展と活性化につなげていく」と意欲を示した。

23年度事業では、正会員と特別会員の加入促進や、測量継続教育センターと関係団体と連携した講習会の開催、測量技術者の技術力向上に向けた無料のアドバンスセミナーの実施、測量技術センターの測量機器検定事業の促進—などに取り組み、支部組織と事業の充実・強化を図る。報告会后、長年、役員として沖繩支部の発展に尽力した前支部長の与那覇強氏と前副支部長の松田悟氏、前幹事の新垣宏昌氏に感謝

状を贈呈。続いて(公社)日本測量協会の清水英範会長が「日本測量協会と学会活動」をテーマに講演。清水会長は「日本測量協会は、測量・地理空間情報に関する教育・研修と測量機器・成果の検定を中心的な事業としながら、この分野の発展に寄与する様々な活動を行ってきた」と説明。「その結果として、学会活動と言ってもよい活動が徐々に充実してきた。今後とも、一学会として恥ずかしくないよう活動を充実させ、関連学会を応援し連携を強化していききたい」と呼びかけた。その後懇親会が開かれ、清水会長と国土地理院沖繩支所の阿久津修支所長も参加し、会員らと親睦を深めた。